

## 令和4年度 堺りべらる中学校 学校評価

### 1. 目指す学校像

建学の精神である「愛と真実の教育」「情操豊かな女子教育」を基本とし、「明朗な女性の育成」「知性豊かな女性の育成」「実行力のある女性の育成」という教育方針のもと以下の実現を目指す。

1. 基本的な生活習慣の確立
2. 自己表現能力の向上
3. 将来に向けて基礎学力の養成

カリキュラムは国公立高等学校の合格を目指す特進のカリキュラムに、ダンス・楽器演奏・演技実習などの表現教育を取り入れ、自己表現能力を伸ばし、内部進学・外部進学のどちらにも対応できる体制を確立させる。

### 2. 中期的目標

#### 1. 教育活動と確かな学力の育成(教育充実のための取り組み)

##### (1) 学力の向上(生徒の実態に応じた授業方法の確立)

- ① 学習指導計画の確立
- ② 個々の学習状況に応じた学習指導
- ③ 指導方法の工夫・改善
- ④ 不登校対策の充実

ア. 年間授業時数の確保・学校行事等が一定の曜日に偏らないように配慮する。

※コロナウィルス感染症拡大防止のため変更があるが、自己評価アンケートで、昨年に続き達成度を90%にすることを維持したい。

イ. シラバスによる教科・科目の指導目標の達成を目指す。

※コロナウィルス感染症拡大防止のため変更が生じるが、自己評価アンケートで、昨年に続き達成度を90%にすることを維持したい。

ウ. 外部テストの対策講座や進学用補習を計画的に行う。

※自己評価アンケートで達成度100%近くにすることを旨とする。

エ. 中間考査・期末考査で基準値がとれなかったら生徒の居残り補習の実施

※コロナウィルス感染症拡大防止のため、居残りに制限はあるが、自己評価アンケートで達成度90%にすることを旨とする。

オ. 早朝テストのやり直し確認と再テストの徹底実施

※自己評価アンケートで昨年に続き100%近くにすることを旨とする。

カ. 発音記号に基づく発音指導と辞書引きの徹底指導

※自己評価アンケートで昨年どおり100%達成を旨とする。

キ. 英語検定の対策講座の実施と英語検定の全員合格を目指す。

※自己評価アンケートで70%達成をさらに向上させたい。合格率も高めたい。

ク. 外国人講師による英会話授業の充実と日常的な会話指導の実施

※自己評価アンケートで昨年目標80%から90%達成を旨とする。

ケ. 勉強合宿において習熟度別授業を実施する。

※コロナウィルス感染症拡大防止のため勉強合宿が実施できない可能性があるが、自己評価アンケートで昨年同様100%達成を旨とする。

コ. 不登校生徒の援助・指導・対策の取り組み

自己評価アンケートで昨年目標80%から90%にすることを旨とする。

##### ⑤ 挨拶の習慣化

##### ⑥ 人権意識の育成

サ. 校内での挨拶や学校行事での礼儀指導の徹底

自己評価アンケートで昨年同様100%達成を旨とする。

シ. 主張コンクール等を通じて自己表現・プレゼンテーションの能力を身につけさせる。

コロナウィルス感染症拡大防止のため機会は減るが、自己評価アンケートで昨年同様90%達成を旨とする。

ス. 「堺っ子」新聞の人権作文に全員応募させ、人権の視点や知識を持たせる。

自己評価アンケートで昨年同様90%達成を旨とする。

#### 2. 学校としての組織的対応

##### (1) 学校情報の発信と保護者とのコミュニケーションの充実

- ① 保護者との連携
- ② 教育活動の対外的報告
- ③ 学習環境の美化と整備

ア. 子ども安全連絡網による学校連絡を実施していく。

※コロナ関連の連絡がかなり増えるが、自己評価アンケートで昨年目標90%から90%以上を旨とする。

イ. 月2回発行のリベラルボイスで学校の様子をタイムリーに報じて、一方的な配信にならないようにする。

※自己評価アンケートで昨年同様90%達成を旨とする。

- ウ. 人権新聞「まあるいいのち」を月1回発行していく。また障害者施設や老人ホーム等の訪問も取り上げていく。  
※老人ホーム等の訪問は難しいが、自己評価アンケートで90%にあげることがを目指す。
- エ. 生徒全員清掃の実施と個人ロッカーの整頓の徹底。点検をしっかりとすることで自覚を持たせる。  
※コロナウイルス感染症拡大防止のため消毒等も含み、自己評価アンケートで90%達成を維持したい。
- オ. 机等の整理・整頓に努める。  
※自己評価アンケートで昨年目標90%から今年度目標90%以上を目指す。

### 3. 教員人材の育成

#### (1) 教員研修等による指導力の向上

- ① 模擬授業の実施と評価
- ② 年度課題設定とその評価
- ③ 教員研修の実施
  - ア. 授業充実のため各先生に模擬授業をしてもらい、お互いに講評する。  
※自己評価アンケートで昨年80%から90%を目標にする。
  - イ. 自ら取り組むべき課題を明らかにし、課題の達成度を評価する。  
※コロナ禍の中で取り組むべき課題も当然増えるが、自己評価アンケートで昨年80%から90%にあげることがを目指す。
  - ウ. 年度当初に「いじめ等の研修会」を開催していき、マニュアルにそって確認していく。  
※自己評価アンケートで90%にあげることがを維持したい。
  - エ. 防犯対策の講演・研修会を開催し、危機管理の意識を高める。不審者に対するマニュアルにそって確認  
※今年はホールでの対面講演になると思われるので、自己評価アンケートで90%達成を維持したい。
  - オ. 不登校対策の研修会を開催し、不登校生徒への対策を講じる。不登校生徒対応マニュアルの見直しも行う。  
※難しい課題であるが、自己評価アンケートで昨年同様80%達成を目指す。

#### 自己評価アンケートの結果と課題

##### <教職員>

##### ☆教育活動と確かな学力の育成(教育充実のための取り組み)

- ① 学習指導計画の確立
- ② 個々の学習状況に応じた学習指導
- ③ 指導方法の工夫・改善
- ④ 不登校対策の充実
  - ア. 月曜日・土曜日が祝日や学校行事のためこの曜日にある教科の授業数確保が難しかった。またコロナ禍で授業確保も難しかった。特別授業でなんとか授業数を確保したが、できるだけ特別授業に頼らず授業時間を確保したい。自己評価90%で目標達成はできた。
  - イ. 進度計画の内容を吟味する中で副教材の利用等を改善した。さらに授業時間を確保し、指導目標を達成したい。  
コロナウイルス感染症拡大防止の中で自己評価90%を達成できた。
  - ウ. 模擬テストの対策・英検の対策はできた。昨年の課題として早くから時間割の計画をたて、習熟度別に行うことが出来るよう計画を立てたので自己評価90%は維持できた。
  - エ. 居残り補習については、長期休暇も含め補習ができたので、さらに充実したものにしていきたい。居残り補習と対策講座の両立できるように改善していきたい。コロナ禍の中で居残り補習にも制限があったが、今年も現状維持できた。
  - オ. 早朝テストのやり直し等については放課後の習い事等の活動をしている生徒も再テストを優先するように指導した。引き続き継続し、より定着したテストにしたい。コロナウイルス感染症拡大防止の中、居残り等制限があったが、何とか90%は維持できた。
  - カ. 発音記号に基づく発音指導や辞書引きについては、辞書引きを競争させるなど、興味を引くよう工夫が必要と思われる。1年から3年まで徹底指導がほぼでき、今年も自己評価で90%維持できたので来年度は目標の100%を目指したい。
  - キ. 英検対策は合格率を上げるために、全員受験を9月から2月に変更し4年経つ。冬休みの課題や対策講座の内容を改善したため、合格数は増加したが、今年も目標を達成するのは難しかった。  
来年度はさらに対策講座を充実させたい。
  - ク. 外国人講師による英会話授業について、もう少し、スピーチコンテストに積極的に参加させ、より充実した内容にしたい。コロナ禍の影響はあるが、来年度は自己評価80%を達成させたい。
  - ケ. 勉強合宿・外部模試講座等で外部テストの偏差値をもとに3グループにわけて実施できた。来年度は対策講座だけでなくさらに充実した授業を目指したい。今年はコロナウイルス感染症拡大防止のなかでも勉強合宿を実施した。来年も自己評価90%を維持したい。
  - コ. 入学後、不登校の改善がみられる生徒とあまり改善されない生徒がいる。改善が見られる生徒も学力補充の面でまだまだ課題が多い。今年も自己評価はB段階にあたる80%にとどまり指導の難しさを痛感した。来年度に向けて指導体制を確立していきたい。
- ⑤ あいさつの習慣化
- ⑥ 人権意識の育成
  - サ. コロナウイルス感染症拡大防止の中、学校行事も一部実施できなかったが、その中でのあいさつの更なる徹底と通学バス内や外部の来客者へのマナー向上を目標としたが、今年も一部できなかったところがあり、達成度も80%にとどまった。
  - シ. コロナウイルス感染症拡大防止の中であったが、私の主張コンクール・文化発表会でほとんどの生徒が自己表現できた。校内スピーチコンテストを実施するなど充実をはかった。コロナ禍の中ではあるが今年も自己評価も90%を維持できた。
  - ス. 人権作文は全員提出できたが、次年度にむけて、仲間作りや周囲にいる人々のことを思いやる気持ちを一層養いたい。なかなか徹底できないところもあるが、自己評価80%で維持できた。

##### ☆学校としての組織的対応

- ① 保護者との連携

(2) 教育活動の対外的報告

③学習環境の美化と整備

- ア. 子ども安全連絡網による学校連絡は例年通り4月にできたが、受け取りの確認が今年4月中旬まで徹底できなかった。次年度は自己評価100%達成を目指して徹底していきたい。自己評価は90%達成。
- イ. コロナウィルス感染症拡大防止の中、リベラルボイスは月2回発行出来ない時もあり、また一方的になりがちである。一方的な配信にならないように対策を考えたため自己評価80%維持できた。
- ウ. 人権新聞も一方的な配信になりがちである。さらに人権講演なども充実していくなど人権意識を高めていきたい。自己評価80%を実現していきたい。
- エ. コロナウィルス感染症拡大防止の中、全員清掃については、監督に行かないと出来ないときもあったが、点検表をつくり、意識付けをした結果、達成度Aの範囲である90%を今年も達成した。
- オ. 机等の整理・整頓については、各授業の初めにきちっと並べることを定着していきたい。個人ロッカーもテスト前などに点検日を入れていく。今年の自己評価は90%を達成できた。

☆教員人材の育成

①模擬授業の実施と評価

②年度課題設定とその評価

③教員研修の実施

- ア. 模擬授業については、放課後実施のため、講座・補習等があり、実施回数が十分ではなかった時期もあったが、次年度はより計画的に実施していきたい。自己評価90%に引き上げ充実をはかりたい。
- イ. 自ら取り組むべき課題を明らかにし、課題の達成度も評価した。自己評価で80%を実現した。授業・クラス運営・委員会指導にも広げていきたい。
- ウ. 人権研修で、携帯電話についての講演・研修会を実施したが、やはり根本的な解決方法を見いだせない。保護者の協力も得て、違反行為がないように徹底したい。自己評価は90%を達成できた。
- エ. 防犯対策では、危機管理マニュアルを把握して、更なる充実をはかる。また、堺警察署・鉄道警察の協力を得て、意識を高めていったため、教職員の自己評価は90%に引き上げたい。
- オ. 不登校対策は具体的な対策を見いだせない。登校出来るようにケース会議を中心に取り組んだが、今後も、放課後対応などを持続的に指導していくことで、登校につなげたい。今年自己評価80%を達成した。

以 上

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価	
1. 教育活動と確かな学力の育成(教育充実のための取り組み)	①学習指導計画の確立	ア. 年間授業時数の確保・学校行事等が一定の曜日に偏らないように配慮する。	ア. 自己評価アンケートで90%達成を目指す	ア. 月曜日・土曜日が祝日や学校行事のため・コロナ禍のため授業数確保が難しかった。自己評価アンケートは90%に満たなかった。	
		イ. シラバスによる教科・科目の指導目標の達成を目指す。	イ. 自己評価アンケートで90%達成を目指す	イ. 進度計画の内容を吟味する中で副教材の利用等を改善した。授業時間を確保し、指導目標の達成を目指し自己評価アンケート90%達成した。	
		②個々の学習状況に応じた学習指導	ウ. 外部テストの対策講座や進学用補習を計画的に行う。	ウ. 自己評価アンケートで90%達成を目指す	ウ. 模擬テスト対策・英検対策はできた。90%は達成したが、昨年からできるだけ早く習熟度別に移行出来るよう計画を立てたのでさらに90%以上の達成を今後めざしたい。
			エ. 中間考査・期末考査で基準値がとれなかったら生徒の居残り補習の実施	エ. 自己評価アンケートで90%達成を目指す。	エ. 今年度から居残り補習と外部対策講座の両立ができるように改善したため、目標の自己評価アンケートでは現状維持。
			オ. 早朝テストのやり直し確認と再テストの徹底実施	オ. 自己評価アンケートで90%達成を目指す	オ. 今年は早朝テストのやり直し確認を定着させた。自己評価アンケート90%達成、来年度は自己評価アンケート90%以上の達成を目指したい。
			カ. 発音記号に基づく発音指導と辞書引きの徹底指導	カ. 自己評価アンケートで昨年同様100%達成を目指す	カ. 発音記号に基づく発音指導や辞書引きについては、辞書引き競争など興味を引くよう工夫をしたが90%達成にとどまった。
			③指導方法の工夫・改善	キ. 英語検定の対策講座の実施と英語検定の全員合格を目指す。	キ. 自己評価アンケートで昨年の70%を向上させたい
	ク. 外国人講師による英会話授業の充実と日常的な会話指導の実施	ク. 自己評価アンケートで90%達成を目指す		ク. コロナ禍の中スピーチコンテストに積極的に参加させ、より充実した内容にしたい。来年度は自己評価アンケート90%達成を目指したい。	
	2. 学校としての組織的対応	④不登校対策の充実	ケ. 勉強会において習熟度別授業を実施した。	ケ. 自己評価アンケートで昨年同様100%達成を目指す	ケ. コロナ禍の中勉強会・外部模試講座等で外部テストの偏差値をもとに3グループにわけて実施した。来年度はさらに充実した授業を目指したい。自己評価アンケート90%達成できた。
			コ. 不登校生徒の援助・指導・対策の取り組み	コ. 自己評価アンケートで90%達成を目指す	コ. 入学後、不登校生徒の改善がみられる生徒とあまり改善されない生徒がいる。学力補充の面もまだまだ課題も多い。自己評価アンケートも80%にとどまった。
		⑤あいさつの習慣化	カ. 下校の挨拶や学校行事での礼儀指導の徹底	カ. 自己評価アンケートで100%達成を目指す	カ. 学校行事での挨拶の更なる徹底とスクールバス内や外部の来客者へのマナーを向上させたが一部できなかったところがあり達成度も90%にとどまった。
			キ. 主張コンクール等を通じて自己表現・プレゼンテーションの能力を身につけさせる。	キ. 自己評価アンケートで昨年同様90%達成を目指す	キ. 私の主張コンクール・文化発表会でほとんどの生徒が自己表現できた。校内スピーチコンテストを実施するなど充実をはかった。自己評価アンケート90%達成を維持できた。
		⑥人権意識の育成	ク. 「堺っ子」新聞の人権作文に全員応募させ、人権の視点や知識を持たせる。	ク. 自己評価アンケートで90%達成を目指す	ク. 人権作文に全員提出できたが、次年度に向けて仲間作りや周囲にいる人々のことを思いやる気持ちを一層養いたい。何とか自己評価アンケート80%から90%にしたい。
			①保護者との連携	ア. 子ども安全連絡網による学校連絡を実施していく。	ア. 自己評価アンケート90%達成を目指す
②教育活動の対外的報告		イ. 月2回発行のリベラルボイスで学校の様子をタイムリーに報じて、一方的な配信にならないようにする。	イ. 自己評価アンケートで90%達成を目指す	イ. リベラルボイスは月2回発行出来ないときもあり、また一方的になりがちである。一方的な配信にならないように対策を考えたい。そのため自己評価アンケートも90%を達成できなかった。	
	ウ. 人権新聞「まあるいいのち」を月1回発行していく。また障害者施設や老人ホーム等の訪問も取り上げていく。	ウ. 自己評価アンケート80%から90%にあげることを目指す	ウ. 人権新聞も一方的な配信になりがちである。さらに人権講演会なども充実していくなど人権意識を高めたい。今年も老人ホームの訪問は実施できなかった。自己評価アンケート90%達成を実現していきたい。		

中期的 目標	今年度の 重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
2. 学校としての組織的対応	③学習環境の美化と整備	エ. 生徒全員清掃の実施と個人ロッカーの整頓の徹底。点検をしっかりとすることで自覚をもたせる。	エ. 自己評価アンケート90%達成を目指す	エ. 全員清掃については、例年課題として監督に行かないと出来ない時もあり点検表をつくり、意識付けをした。自己評価アンケート90%達成。
		オ. 机・椅子等の整理整頓に努める。	オ. 自己評価アンケートで、90%以上達成を目指す	オ. 机・椅子等の整理整頓については、各授業の初めにきちっと並べることを定着していきたい。個人ロッカーもテスト前などに点検日をいれていく。今年も自己評価アンケート90%を達成したので、90%以上を目指したい。
3. 教員人材の育成	①模擬授業の実施と評価	ア. 授業充実のため各先生に模擬授業をしてもらい、お互いに講評する。	ア. 自己評価アンケート90%達成を目指す	ア. 放課後実施のため、講座・補習等があり、実施回数が十分ではなかった。次年度も計画的に実施していきたい。自己評価90%に引き上げたい。
	②年度課題設定とその評価	イ. 自ら取り組むべき課題を明らかにし、課題の達成度を評価する。	イ. 自己評価アンケートで昨年80%から90%にあげることを目指す。	イ. 自ら取り組むべき課題を明らかにし、課題の達成度も評価したい。自己評価で80%達成を実現したが、さらに授業・クラス運営・委員会指導にも広げていきたい。
	③教員研修の実施	ウ. 年度当初に「いじめ等の研修会」を開催していき、マニュアルにそって確認していく。  エ. 防犯対策の講演・研修会を開催し、危機管理の意義を高める。不審者に対するマニュアルにそって確認。 オ. 不登校対策の研修会を開催し、不登校生徒への対策を講じる。不登校生徒対応マニュアルの見直しも行う。	ウ. 自己評価アンケートで昨年80%から90%にあげることを目指す。  エ. 自己評価アンケート90%達成を目指す オ. 自己評価アンケートで昨年同様80%達成を目指す	ウ. 人権研修で携帯電話についての講演・研修会を今年も実施したが、根本的な解決方法を見いだせない。 保護者の協力も得て、違反行為がないように徹底したい。来年度は90%を達成したい。 エ. 防犯対策では、危機管理マニュアルを把握して、堺警察署や鉄道警察の協力を得て意識を高めていきたかったが、教職員全員にはまだまだ不十分に思われる。次年度は90%に引き上げたい。 オ. 不登校対策は具体的な対策を見いだせない。個別対応が現状では難しい面がある。引き続き登校出来るようにケース会議を中心に、なんらかの対応を考え持続的に指導していくことで、登校につなげたい。自己評価80%を達成したい。